

とよつだより

第 1 7 号

平成21年6月15日発行
一編集・発行一
豊津まちづくり委員会
(広報記録専門部)

霞ヶ浦浄化キャンペーン

「第27回北浦一周サイクリング」開催



岡野さん 体指功労者表彰受賞



五月二十九日、土浦市で行われた茨城県体育指導員協議会総会で、大船津の岡野実さんが「体育指導員功労者表彰（十年表彰）」を受賞しました。豊津地区でも運動会を始め、様々な体育行事で指導いただいています。今後ますますのご活躍を祈念いたします。

「6年間サイクリングをやって」

6年 大内海渡

1年生の時に参加したのはばく一人で、この年は一番長い距離でしたが必死で走り、なんとかゴールできました。

雨の日も風の日もありましたが、『6年間完走』をめざしていたので、達成することができ、うれしいです。

これから先もこの霞ヶ浦浄化キャンペーンが続いて、北浦がきれいな湖になってほしいと思います。



「はじめてのサイクリング」

1年 まつおかきら

はじめてのサイクリングはつかれたけれど、お友達といっしょに自転車にのれてたのしかったです。ころんだときは、すごくいたくて泣いちゃったけど、さいごまで走れてうれしかったです。しょうじょうがもらえるように、6年生までがんばりたいです。

※小学生時代に参加したことのあるお母さんとお姉ちゃん2人（4年生、3年生）と家族4人で楽しく参加してくれました。

来年は、皆さんと一緒にペダルを踏んで楽しい汗をかいてみませんか？

賞は、大内海渡君が受賞しました。

です。6年間参加した児童に贈られる完走

途中、疲れからか、無口になったり、集中力が途切れて衝突、転倒し

たりする子どもたちもいましたが、また一つ楽しい思い出ができたよう

が、小学校の体育館が見えてくると再び元気が湧き出て、ペダルを踏む

足に力が入ったようです。

午後一時、午後の部再開。時折、小雨に降られて心配しましたが、大

事には至らず、途中、白浜と大生で北浦をバックに記念撮影。JR鹿島

線の鉄橋下をくぐる頃には疲れもピークに達していたように見えました

が、小学校の体育館が見えてくると再び元気が湧き出て、ペダルを踏む

足に力が入ったようです。

午後一時、午後の部再開。時折、小雨に降られて心配しましたが、大

事には至らず、途中、白浜と大生で北浦をバックに記念撮影。JR鹿島

線の鉄橋下をくぐる頃には疲れもピークに達していたように見えました

が、小学校の体育館が見えてくると再び元気が湧き出て、ペダルを踏む

足に力が入ったようです。

午後一時、午後の部再開。時折、小雨に降られて心配しましたが、大

事には至らず、途中、白浜と大生で北浦をバックに記念撮影。JR鹿島

線の鉄橋下をくぐる頃には疲れもピークに達していたように見えました

が、小学校の体育館が見えてくると再び元気が湧き出て、ペダルを踏む

足に力が入ったようです。

午後一時、午後の部再開。時折、小雨に降られて心配しましたが、大

事には至らず、途中、白浜と大生で北浦をバックに記念撮影。JR鹿島

線の鉄橋下をくぐる頃には疲れもピークに達していたように見えました

が、小学校の体育館が見えてくると再び元気が湧き出て、ペダルを踏む

足に力が入ったようです。

午後一時、午後の部再開。時折、小雨に降られて心配しましたが、大

事には至らず、途中、白浜と大生で北浦をバックに記念撮影。JR鹿島

線の鉄橋下をくぐる頃には疲れもピークに達していたように見えました

が、小学校の体育館が見えてくると再び元気が湧き出て、ペダルを踏む

足に力が入ったようです。

五月十六日（土）、耐震改修が済んだ小学校の玄関前に自転車勢揃い。児童二十九人を含めた六十六人（自転車五十五台）が北へ向って一斉に出発しました。

今日は、霞ヶ浦浄化キャンペーン『第二十七回北浦一周サイクリング』です。昨年の道路交通法の改正により、参加児童はヘルメットをかぶつての参加で、昨年までとはちよつと様相が違っていました。耳慣れた「♪今日は楽しいサイクリング・・・♪」のメロディーはいつもと一緒。子どもたちのにぎやかな話し声も同じです。

スポーツ父母の役員やまちづくりセンター職員の検討・協議で決まった今年のコースは、小学校を出発し、北浦東岸を北上、鉾田市（旧・大洋村）と行方市（旧・北浦村）を結ぶ鹿行大橋を渡り、北浦西岸を下して神宮橋を渡って小学校へ戻る約五十三キロコース。

小学校を出発し、須賀から堤防に出た一行は、大野区域の津賀城址公園で休憩をとり、鉾田市札の鹿行大橋を目指しました。鹿行大橋はご存知のとおり、すれ違うには待避所を利用しなければならぬ狭い橋。もちろん自転車では渡れません。父母の役員のご配慮で、橋のそばのコンベニからマイクロバスに分乗し、すぐ北側に建設が進む新・鹿行大橋の工事風景を見ながら、対岸にある行方市老人福祉センターへ（自転車はトラックに乗せて対岸へ搬送）。そこから再び自転車に乗り、近くの行方市文化会館で待ちに待った昼食。栄養補給と休憩が目的のはずですが、子どもたちは公園で大はしゃぎ。（サイクリングより疲れた？）

午後一時、午後の部再開。時折、小雨に降られて心配しましたが、大線には至らず、途中、白浜と大生で北浦をバックに記念撮影。JR鹿島線の鉄橋下をくぐる頃には疲れもピークに達していたように見えました。小学校の体育館が見えてくると再び元気が湧き出て、ペダルを踏む足に力が入ったようです。

途中、疲れからか、無口になったり、集中力が途切れて衝突、転倒したりする子どもたちもいましたが、また一つ楽しい思い出ができたようです。6年間参加した児童に贈られる完走賞は、大内海渡君が受賞しました。

第1・4回とよつきッズ

5 / 9 ・ 6 / 7



2回に渡り、25人の児童が参加し、トウモロコシやスイカなど9種類の夏野菜の播種・定植をしました。収穫が楽しみです。

第1回豊津クリーン

5 / 10



児童3人を含む91人の参加で、可燃物6袋、不燃物10袋を回収しました。お疲れ様でした。

まちづくり委員会事業

～ 5・6月の報告 ～

ソフトボール大会

5 / 31



雨で順延開催になりましたが、老若男女が汗を流しました。爪木同士の対戦になった決勝を制したのは、爪木Bチーム。おめでとう。

第1回楽学セミナー・第2回とよつきッズ 感謝をこめて、贈るアレンジメント



5 / 10



「母の日」に向けて、文化福祉専門部の「とよつきッズ」と「楽学セミナー」が共同でアレンジメント教室を実施しました。子ども20名・大人16名の参加で、可愛いプードルと5月にふさわしい爽やかな色合いの作品が完成しました。短期間の募集でしたが、数日で希望者が集まり、アレンジメントは大好評でした。

高齢者スポーツ大会

6 / 2



こちらも順延開催になりましたが、皆さん楽しく競技しました。
※紙面の関係で、優勝者のみの掲載です。

- ★クロケートの部＝大船津Cチーム
(藤枝洋子さん・郡司みよ子さん・大川昭二さん)
- ★グラウンドゴルフの部＝小沼なみさん (爪木)
- ★輪投げの部＝遠藤実さん (爪木)
- ★ダーツの部＝山口清さん (爪木)



新緑が美しい「山法師」です

お知らせ

大船津の小田倉せつ様より山法師の木が寄贈され、まちづくりセンターの前庭に植樹しました。新緑の若葉が目優しく、また4枚の白い三角の花びらが青葉の中から顔を出し、爽やかさをかもし出しています。まちづくりセンターへご来館また周辺をウォーキングの際は立ち寄ってご鑑賞下さい。

☆山法師の花言葉 (友情)



熊野神社は、紀州が有名ですが（熊野古道、熊野水軍など）このあたりの熊野神社は、那珂湊、小見川、潮来、爪木と、水辺に近い所に在る事から、海、湖や川を、生活の糧とする民の守り神として祀りしてきたことも想像できます。八朔の行灯の灯かりがいつまでも私たちを守ってくださいますように・・・。

今年の八月一日は、「かるた解説本」のウォーキングマップを基に「とよつ悠々健康づくり・八朔まつりウォーキング」を実施します。奮ってご参加ください。

＊詳しくは、『そよかぜ』でご案内します。



はっさく 八朔まつり

とよつかるためぐりシリーズ②

「八朔」は、昔から「五穀豊穡」・「天下泰平」・「家内安全」を祈り、爪木では行灯を奉納してきました。夜になると、熊野神社の社殿、拝殿や二十一ある階段のわきに行灯が灯り、境内は幽玄な空気に包まれます。

「八朔まつり」は、かなり昔から行われていたようで、当番の福宜（ねぎ）様と、子ども会、育成会の方たちが午前中から準備に取り掛かります。子どもたちの行灯づくりは半紙に豊作祈願や、夢、思いの願いごとなどを認（し）したため、やがて行灯のろうそくに火が灯り、何とも言えない灯かりが、たそがれの鎮守の森の境内に浮かびあがり、参拝に来る集落の人々を迎えます。

「八朔まつり」は、毎年、八月一日は、爪木の熊野神社（氏神様である鎮守様）の八朔まつりです。

「八朔の夜のにぎわい行灯（あんどん）まつり」と、「とよつ親子かるた」の中にあるように、毎年、八月一日は、爪木の熊野神社（氏神様である鎮守様）の八朔まつりです。